

「世界にたったひとつの奈良」の実現に向けて

サラリーマン横井の活動をお伝えします

よこいレポート

YOKOI Report

奈良市議会議員の横井雄一でございます。

「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、

小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる

政治家として活動してまいります。

奈良市議会議員 横井雄一 議会レポート vol. 32

令和7年4月1日 発行/横井雄一事務所
〒630-8301 奈良市高畠町51-10
TEL 090-1598-4519 メール yokoi-y@kcn.jp



16年目活動中です！

みんなさんの声を議会で質問しました

① 駅前の身障者乗降場をキレイにして!

令和6年10月 厚生消防委員会

経緯

奈良市が管理する駅前広場の身障者乗降場(※)は8カ所ある。経年劣化でカラー舗装が摩耗するため、見えにくくなった乗降場に一般車が駐車することがあり、本来使いたい身障者が使えないことがあった…。

※身障者乗降場：路面に青色舗装され、白色の車イスがデザインされている。



障がい福祉課長の答え

情報把握に努め道路部局と連携する。明確な表示が必要であり、障害者が安心して外出できる環境の維持に努める。

JR奈良駅の東西駅前広場の身障者乗降場の舗装はかなり摩耗している。現場をチェックしているのか。

さらに意見

常に障害者の立場に立って考え方行動すべき。摩耗しているところは直ちに塗りなおしてほしい。

その後

議会で指摘した翌週に、摩耗していた2カ所の身障者乗降場はキレイに塗りなおされました。

スピード感は大事！



J R 奈良駅東口の乗降場



J R 奈良駅西口の乗降場

② 公平な立場で解決を!

令和6年10月 厚生消防委員会

経緯

令和6年4月1日、障害者差別解消法が改正された。改正のポイントは、以前は努力義務であった障害のある人への「合理的配慮の提供」が、事業者も義務になったことであった。(行政機関は以前から義務)



横井の質問

社会の様々な場面でトラブルが想定される。利用者(障がいのある人)や事業者から奈良市に、相談事が持ち込まれることはあるのか。

障がい福祉課長の答え

令和6年4月1日以降、国「つなぐ窓口(※)」を通じて2件の相談があった。いずれも利用者からのもので、1件は解決し、もう1件は調整中である。

さらに意見

今後は、奈良市へ直接相談事が持ち込まれることもある。相談者が障害のある人、事業者に関わらず、公平な立場で取り組んでほしい。

※つなぐ窓口…内閣府が設けている、障害者差別解消法の関する相談窓口。
地域の自治体や関係機関に取り次いでくれる。(令和7年3月末まで設置されていた)

③ 万葉の歌碑を活かした地域振興を!

令和6年12月議会

経緯

奈良市内には、平成時代に「奈良市に万葉の歌碑を立てる会」の皆様が努力され、55基の万葉歌碑がある(市役所庭にも1基)。近年、訪日外国人が増えていることを踏まえ、外国人にも万葉の思いを伝えるべく、歌を英語表記してはどうかとの声がある。富山県高岡市には12か所の英語表記板を設置する事例があり、奈良市内では奈良女子大学が歌碑を多言語化しようとする動きがある…。



横井の質問

新しい地域活性化の切り口として、手始めに市役所にある歌碑(※1)と朱雀大路緑地にある歌碑(※2)を訪日外国人に向けて多言語化表に取り組んでは。

仲川市長の答え

現時点では多言語化が観光振興に寄与するかは未定だが、万葉集を通じた地域づくりの一環として大学等と情報交換を進めたい。

※1 市役所庭の歌碑

「あをによし 奈良の都に たなびける 天の白雲 見れど飽かぬかも」(遣新羅使人)

※2 朱雀大路緑地の歌碑

「あをによし 奈良の都は 咲く花の 薫ふがごとく 今盛りなり」(小野老)

④ 浸水を止めて!

令和6年12月議会

経緯

令和6年11月2日(土)の豪雨により、飛鳥地区内高畠町で家屋が床下浸水することが起きた。地域の下水道は合流式下水道で、汚水・雨水が混合して流れる下水道で、雨量が多いときは適切な排水ができないことが問題。汚水の逆流を防ぐ止水弁は施されているが、浸水は防ぐことができなかった。汚水と雨水を分けて別々の管で排水する分流式下水道への転換が望まれる…。



横井の質問

年数をかけてでも計画的に分流式下水道に転換しては。

企業局長答え

現在、200kmに及ぶ合流式水管を替えるには多額の費用が掛かる。同時に、住宅地内の配管も汚水・雨水に分ける工事が必要で個人負担が発生するため、現実的に困難である。
しかし、浸水発生する可能性があり、浸水箇所ごとに調査を行い改善する。

さらに要望

分流式への転換は困難であるとわかったが、家屋浸水することは事実で災害と言える。浸水箇所の改善を!

その後

奈良市企業局による原因究明調査が行われ、屋外雨水路の体積土砂の清掃が行われ、今夏に備えることとなった。



5 公民館が暑い!

令和6年12月議会

経緯

飛鳥公民館は1階2階が吹き抜けになっており、玄関ロビーから階段、ろう下に至る共用部分はエアコン設備がない。真夏は40°Cの高温になり、扇風機も効き目がない。夏場でも月に約1000人の来館者があり、屋内の熱中症対策が心配される…



横井の質問

大きな設備投資は難しいと考えるが、スポットクーラーを市の費用で導入すべきでは。

教育部長の答え

例年ない暑い日が続いた。スポットクーラーは費用対効果が高い有効な手段と考える。

さらに意見

屋内での熱中症防止と公民館利用者へのサービス向上につながるので、ぜひ実現してほしい!

6 診療所の待ち時間が長すぎる!

令和7年1月 厚生消防委員会

経緯

年末年始の9連休には、奈良市立休日夜間応急診療所への来院患者数が急増した。患者さんの診療時間は待ち時間を含め多くの時間を要した。奈良市医師会、職員等の協力で何とか乗り切っていただいたが…。



横井の質問

年末年始の9連休、診療所はインフルエンザ等の患者が急増し、長時間の待ち時間があったと聞く。課題が見つかったのではないか。

医療政策課長の答え

特に12月30日から1月3日の5日間に2,002人の患者が診察に訪れ、診療所の対応能力を超えて患者が集中した。設備面、人員面で限界があり対応策を検討する。

さらに要望

今年(令和7年)の年末年始も長期間の休みとなりそうなので、対応策を考えてほしい!

7 自治会購入の車いすに補助を!

令和7年3月議会

思 い

災害時の地域防災の役割は大きい。自治会の中には避難所への移動すら困難な方がおられ、周りの方の手助けが必要。現在、障害者等個人を対象とした車いす補助制度はあるが、自治会が購入する場合には制度がない。「車いすさえあれば、避難できたのに」という後悔がないよう準備したいと考えるが…。



横井の質問

自治会に対する、避難時に使用する車いすの購入補助を実現してはどうか。

危機管理監の答え

避難の際に利用することを想定した場合、平時に使用する機会が少なく、安全に使用できる状態を保つておくという管理面での課題が大きく、難しい。

さらに要望

実現が難しいことはわかったが、今後も防災活動に熱心に活動される自治会に行政の支援をお願いしたい!

議会での役職

●会派「自民党・無所属の会」の幹事長に就任しました。(令和6年7月から)

●議会運営委員会 委員(令和6年6月から1年間)……………議会の運営全般を担います。前委員長の経験を活かし、引き続き務めます。

●厚生消防委員会 委員(令和6年6月から1年間)……………福祉全般、こども政策全般、保健医療(保健所)、救急・消防を所管します。

取組みの成果が出てきたました!

飛鳥バンビーホームの床面が修繕できました!

飛鳥バンビーホームの旧ルームの床の傷んでおり危険でした。6年度の予算で600万円を確保できていました。令和7年2月、床面の修繕工事が完了し、安心して過ごすことができる床になりました。

椿井バンビーホームの増設が進んでいます!

椿井バンビーホームは、利用する児童が急増しており、一人当たりの保育スペースが小さくなっていました。令和5年11月の議会質問で質し、6年度予算で1億4000万円の増築予算を確保していました。令和7年6月の竣工に向け、工事が進んでいます。

法律相談事業の相談時間が25分に拡大されます!

これまで弁護士による法律相談事業の相談時間は一回20分間でした。今年度から25分間に拡大されます。「相談事を伝えきれない」という相談者の声、「相談内容を全部聞き取れない」という弁護士さんの声があり、時間枠の拡大に取り組んでいました。

法律相談事業の充実に一步前進です!

ユニバーサルデザインのAED装置が増えています!

12年前の議会で、聴覚障害者も救命活動に参画できるよう「絵や文字で使い方をガイドするAED装置を普及してほしい」と訴えました。現在は、市が管理するAED装置246個の内、89個は聴覚障害者も操作できるユニバーサルデザイン『耳マーク』(※)がある装置です。一步前進です!

※耳マーク：聞こえが不自由なことを表し、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。また、マークが掲示されている場合は、聴覚障害者へ配慮した対応ができることを表す。



耳マーク

飛鳥地区・高畠町内の段差解消!

自治会から要望があった市道の段差はを解消しました。約5mにわたる道路の接合部が経年で段差になってしまい、最大箇所は5cmの段差っていました。要望から約1カ月で解決しました。



最大5cmの段差があった道路



スムーズに通行できる道路

踏切内に点字ブロックが整備されました!

令和4年4月に大和郡山市内の踏切で、視覚障害者の痛ましい事故がありました。私は、直後の6月議会で、踏切内の視覚障害者用点字ブロックの必要性を訴え、1150万円の予算を確保することができました。令和6年12月、乗降客の多い新大宮駅第1号踏切に、点字ブロックが整備されました。奈良市移動等円滑化促進協議会、鉄道事業者等のみなさんが粘り強く取り組んでくださったおかげです。まずは、一步前進です!



新大宮駅踏切の視覚障害者用のブロック

よこいくんの取り組み

オーバーツーリズム対策! (観光ごみが増えてきました!)

奈良市への観光客数は、コロナ禍前に戻りつつあります。うれしいことではありますが、賑わいがあるエリアでは観光ごみが増えてきました。ティクアウトの包み紙、ドリンクのカップ…。観光客の目に留まるところに、「ポイ捨てはしないで!」が伝わる仕掛けをしていこうとアイデア提起しています。

①街なかに、多言語でポイ捨て禁止の看板設置! → 実現



近鉄奈良駅前の行基広場に「路面プレート」



猿沢池西の路地に「啓発カンパン」

②さらに、7年度予算で、ポイ捨て防止の表示物に41万2千円を確保!

Deaf MAP (デスマップ) さんのイベントで講演しました

聞こえない人のための学習会や読書会などのイベントを実施されている「Deaf MAP」さんからお声がけいただき、2月8日、大阪市内で講演する機会がありました。私の、15年にわたる、聞えない人たちへの支援活動をお話ししました。すべて手話で話すことはできませんでしたが、自身の活動を振り返る良い機会になりました。今後の議員活動に生かしたいと思います。



手話を交えて話す横井

簡単!

スマホで道路や公園等の「危ない」を通報!

『奈良市道路損傷等通報システム』、『奈良市公園施設損傷等通報システム』をご活用ください!

「道の穴ぼこ」「街灯が消えている」「公園の遊具が壊れている」「公園の樹木が危ない」「カーブミラーが傷んでいる」を発見したら、誰でも、スマホで、その場から通報できます。

早ければその日のうちに修繕ができます! ぜひ活用ください!



奈良市道路損傷等通報システム
奈良市公園施設損傷等通報システム
QRコード

みなさんのところへ、出かけて行きます!

政治のことをわかりやすくお話しします。
それが、横井雄一の「出前トーク」です。



まずは、ご連絡ください!

横井雄一の電話番号 090-1598-4519
横井雄一メールアドレス yokoi-y@kcn.jp まで

よこいゆういち 検索

横井雄一の活動をスマホでチェック →



におわなインキ®
SIAA登録商品 インキ臭を抑えた印刷です